

キャラクター名
上条 逸刀(かみじょう いったう)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス		ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	UGNエージェント
	ブラックドッグ					
オプション			年齢	33	性別	男性
覚醒	探求	衝動	嫌悪	初期侵食率	29	%
出自	名家の生まれ	経験	技術畑	邂逅	家族	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	3	0	0			3	行動値	8
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	8
精神	1	1	0			2	戦闘移動	13
社会	1	0	0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	3		調達	2	
運転:			芸術:			知識: 刀剣	5		情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識: レネゲイド	1		情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
聖剣の王者(彷徨剣)	白兵	5r	7	19		マイナーアクションでそのメインプロセスにこの武器を使用した攻撃は2-シナリオ1回 最大1回 最大1回は攻撃不可
何の変哲もない一振り	白兵	4r		19		①+③ ダイス+1(ペネトレイトで-1、エンチャントで+2) 装甲無視 コスト5
咆哮剣	白兵	4r		19		①+③+⑧ ダイス+1(ペネトレイトで-1、エンチャントで+2) 装甲無視&ガード無効 コスト9

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
エピック	
エンチャント	
ヒストリー	
ネームド	
インプレム:ディシアリンスアクト	
思い出の一品	
情報収集チーム	
ウェポンケース	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
遺産継続者	P	N		
神城早月	P 誠意	N 食傷		
シナリオロイス:???	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
CR:モルフェウス	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-Lv(下限7)							
水晶の剣	3	4	メジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果:	武器一つの攻撃力をシナリオ中+「Lv*2」する シナリオ3回							
ペネトレイト	1	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	ダイス-1 装甲無視							
砂の加護	3	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	判定ダイス+「Lv+1」 1R1回							
メカニカルアクション	1	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	マイナーアクションでエフェクト以外の行動を一回行う。 シーンLv回							
ポルターガイスト	1	4	マイナー	至近	自身	自動	100%	
効果:	武器一つを選択する。シーン中、自分の攻撃力+「選択した武器」する。ただし武器は破壊される							
バリアクラッカー	1	4	メジャー				80%	
効果:	ガード無視 シナリオLv回							
マグネットフォース	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	カバーリング							
万能器具	1							
効果:								
折り畳み	1	1						
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

UGN日本支部に所属するエージェント。
元々はレネゲイド技術の研究スタッフであったが、自身も実験の果てにレネゲイドに感染しエージェントへと転属。
その後は様々な支部を渡り歩いてきた経歴を持つ。
気だる気に振る舞っているが面倒見は良く、結果的に面倒事を押し付けられる「貧乏くじ」役。
裏方仕事を望んでも結局は前線で働く事になってしまう。
実家はそこそこ名のある鍛冶屋で、神城グループとも付き合いのある家。
その血もあってか刀剣の類には興味を示し、これでもかとばかりに食いついていく。

所持している遺産の「聖剣の王者」は持ち主を頻繁に変えることから本来の名ではなく「彷徨剣」で呼ばれている。
現状はいわゆる「飯の主」として契約、所持している状態であり、いつしかこの剣が真の主を見つける時まで、と日々の手入れを丹念に行っている。

「え、俺が行くの？ 勘弁してくれよホント……裏方じゃダメ？ ダメかあ……」
「俺は全く持って強くないが、俺の持つる聖剣は滅茶苦茶強いんだよ」
「丹念込めて鍛え上げられた刀には、それこそ魂が宿っても不思議じゃない。俺はそう思うがね」

【追記】
長年伝えられなかった想いを伝え、元の支部に戻る。
風来は終わり、仲間を守る迅雷となった